

問1 情報化の進展に伴うメディア利用の変化と、その社会的な背景について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 富山県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. テレビの利用時間はすべての年代でインターネットを上回っており、依然として公共放送が唯一の情報源となっている。 | 2. 全世代で新聞の利用時間が急増した結果、フェイクニュースなどのインターネット上の問題が完全に解消された。 | 3. 40代以下の世代で新聞の利用時間が10分未満となっていることは、情報の取得手段がデジタル媒体へ移行していることを示している。 | 4. 若年層におけるインターネット利用時間の増加は、主に新聞の信頼性が向上し、デジタル版への移行が完了したためである。 |
|---|--|---|---|

問2 社会貢献活動を行う組織の分類に関する説明として、特定非営利活動法人（NPO）の性質を正しく述べているものはどれですか。 (2019年 奈良県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 国連の専門機関の一つであり、世界の労働条件の改善や労働者の権利保護を主な目的とする組織である。 | 2. 紛争地域における停戦の監視や選挙管理など、国際連合の主導によって平和を維持するために行われる活動である。 | 3. 国家間の自由な貿易を促進するために、貿易ルールの策定や紛争解決を行う国際的な枠組みである。 | 4. 営利を目的とせず、市民が自主的に福祉や環境保全などの社会的な課題解決に取り組む組織である。 |
|--|---|--|--|

問3 インターネットやSNSの普及により、誰もが膨大な情報に触れ、また自らも発信できる現代において、メディア・リテラシーを発揮する具体的な姿勢として最も適切な記述はどれですか。 (2023年 島根県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 発信者の意図や情報の根拠を批判的に検討し、情報の真偽や偏りを主体的に見極める。 | 2. 情報の真偽を確認することよりも、SNSで話題になっている情報をいち早く他人に伝えることを優先する。 | 3. 効率よく知識を増やすために、インターネットで検索して得られた情報をそのまま受け入れる。 | 4. 信頼できる一つのメディアに絞って、そのメディアが発信する情報だけを全て信じるようにする。 |
|--|--|--|---|

問4 現代社会において「メディアリテラシー」が重要視されている背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2016年 和歌山県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 他人の著作物を無断で複製して利用することが容易になり、著作権者の権利を保護する必要性が高まったから | 2. インターネット上での誹謗中傷を防ぐために、利用者のマナーや道徳心を守ることが求められているから | 3. 個人情報がネットワークを通じて外部に流出するリスクが増え、自己の情報を管理する能力が必要だから | 4. 誰もが手軽に情報を発信できるようになったことで、事実に基づかない情報や偏った見方が拡散する可能性があるから |
|--|--|--|--|

問5 日本では、社会の労働力供給を支える中心的な年齢層として、十五歳以上六十五歳未満の人口が定義されています。この年齢層を指す名称として適切なものはどれですか。 (2025年 群馬県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------|----------|---------|---------|
| 1. 生産年齢人口 | 2. 労働力人口 | 3. 年少人口 | 4. 老年人口 |
|-----------|----------|---------|---------|

問6 多文化社会における課題をまとめた文章の中で、[] に当てはまる言葉として、社会科の学習内容に即した適切なものはどれですか。「現代の民主主義社会では、多数派の意見だけでなく、少数派の人々の権利を守ることも重視される。そのため、行政や地域社会においては、住民の[] 姿勢が不可欠である。」 (2024年 長野県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------------|--------------------|------------------|---------------------|
| 1. 多数派の文化に同化させる | 2. それぞれの文化を尊重し共存する | 3. 独自の伝統や習慣を制限する | 4. 公用語を一つに統一し使用を強いる |
|-----------------|--------------------|------------------|---------------------|

問7 近代民主政治の発展に寄与したジョン・ロックの思想について、その内容を正しく説明しているものはどれですか。 (2018年 大分県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 国民の生命や財産を守るために政府を設置したが、政府が権利を侵害すれば国民には抵抗する権利があるとした。 | 2. 権力の集中による弊害を防ぐため、国の権力を立法・行政・司法の三つの機関に分けるべきだと主張した。 | 3. 国家の主権は国民全体にあると考え、私利私欲を排した「一般意志」に基づく政治を行うべきだと説いた。 | 4. 自然状態では人間は争い続けるため、平和を維持するには絶対的な権力を持つ統治者に全権をゆだねるべきだと説いた。 |
|--|---|---|---|

問8 日本がTPP11などの協定を通じて「貿易の自由化」を進める背景や目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 山口県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 輸入にかかる関税を引き上げることで、安価な外国製品から国内の農業を完全に保護するため。 | 2. 特定の国との間でのみ貿易を限定し、環太平洋地域以外の国々との経済交流を遮断するため。 | 3. 輸出入にかかる関税を削減・撤廃し、物資やサービスの往来を活発にすることで自国および加盟国の経済を活性化させるため。 | 4. 国ごとの独自の投資ルールを強化し、多国籍企業の活動を制限することで国内産業を守るため。 |
|--|---|--|--|

問9 現代の日本において、人口に占める子供の割合が低下する少子化が進む中、衆議院議員総選挙などの年代別投票率において、十代や二十代の数値が全体の平均を大きく下回っている状況が続いています。このような統計的状況が政治に与える影響として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 山梨県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 若い世代の意見が政治に反映されやすくなるよう、選挙権を持つ年齢をさらに引き下げる議論が不要になる。 | 2. 人口減少によって一票の重みが増すため、投票率に関わらず若い世代の政治的な影響力は自然に高まっていく。 | 3. 若い世代の人数が少なく投票率も低いため、政治家が若い世代の意見よりも、数が多い高齢者層の意見を優先する傾向が強まる。 | 4. 投票率の低下により、若い世代に向けた社会保障制度の充実が、高齢者向けのものよりも優先的に進められるようになる。 |
|--|---|---|--|

問10 「児童の権利に関する条約（子どもの権利条約）」が掲げる子どもの権利には、大きく分けて「生存」「発達」「保護」「参加」の四つの柱があります。このうち、子どもに関係のあることについて自由に自分の意見を表明したり、グループを作ったりする権利を指す言葉として適切なものはどれか。 (2022年 鳥取県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| 1. 参加の権利 | 2. 保護の権利 | 3. 生存の権利 | 4. 発達の権利 |
|----------|----------|----------|----------|

問11 現代社会において、ルールを決めたり対立を解決したりする際、特定の人々が不当な扱いを受けることがないように配慮し、手続きの進め方や得られた結果が平等で、関係者が納得できるものであることを何と呼びますか。 (2021年 大分県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 公正 | 2. 効率 | 3. 独占 | 4. 自由 |
|-------|-------|-------|-------|

問12 バリアフリーの考え方に基づいて街を整備する目的と、その仕組みを説明したものととして適切なものはどれですか。 (2023年 茨城県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 最新のテクノロジーを導入することで、行政手続きのすべてをインターネット上で完結させ、外出の必要をなくするため | 2. 身体の不自由な人や高齢者が、社会生活に参加する上での物理的な制限を減らし、安全に移動できるようにするため | 3. 建物の建設コストを抑えるために、手すりやスロープの素材を一律に制限し、公共施設のデザインを共通化するため | 4. 外国人観光客を増やすために、多言語による案内板を設置し、文化的な障壁を完全に排除するため |
|---|---|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 40代以下の世代で新聞の利用時間が10分未満となっていることは、情報の取得手段がデジタル媒体へ移行していることを示している。	情報化の進展により、スマートフォンなどを通じて手軽に情報を得られるようになったため、特に40代以下の世代で紙の新聞を直接読む時間が極端に減少しています。これは単なる「活字離れ」ではなく、ニュースを閲覧するプラットフォームが紙媒体からインターネット上のウェブサイトやSNSへと変化したこと（媒体の移行）が主な要因です。一方で、情報の真偽を見極めるメディア・リテラシーの重要性は、どのメディアを利用する場合でも高まっています。
問2	答え 4 営利を目的とせず、市民が自主的に福祉や環境保全などの社会的な課題解決に取り組む組織である。	特定非営利活動法人は、企業のように利益を上げて配分することを目的とするのではなく、社会的なサービスの提供や環境保護などの「社会貢献活動」を目的としています。国際労働機関（ILO）や世界貿易機関（WTO）といった政府間の国際組織とは異なり、市民による民間の活動である点が特徴です。
問3	答え 1 発信者の意図や情報の根拠を批判的に検討し、情報の真偽や偏りを主体的に見極める。	インターネット上には、個人の主観的な意見や、特定の目的を持って歪められた情報が混在しています。情報を単に集める「情報収集」だけでは不十分であり、情報の背景にある目的を考えたり、他の情報と照らし合わせたりして、情報の妥当性を主体的に取捨選択する姿勢が求められています。
問4	答え 4 誰もが手軽に情報を発信できるようになったことで、事実に基づかない情報や偏った見方が拡散する可能性があるから	インターネットやSNSの普及により、個人が自由に情報の発信者となれるようになりました。その結果、情報の信憑性や公平性が保証されないまま拡散されるケースが増えています。そのため、受け手側が情報を批判的に読み取り、その真偽や意図を吟味する姿勢が不可欠となっています。他の選択肢は、知的財産権や情報モラル、プライバシー保護に関する説明であり、メディアリテラシーの直接的な背景とは異なります。
問5	答え 1 生産年齢人口	日本の人口統計において、経済活動を支える中核となる十五歳から六十四歳までの層を生産年齢人口と呼びます。これに対し、十四歳以下を年少人口、六十五歳以上を老年人口と分類し、それぞれの比率の変化を分析することで少子高齢化の進展具合を把握します。労働力人口は実際に働く意欲を持つ人を指すため、定義が異なります。
問6	答え 2 それぞれの文化を尊重し共存する	民主主義の原則には、単なる多数決だけでなく少数派の尊重が含まれます。多文化社会においては、異なる宗教や習慣を「文化」の多様性として捉え、それらを否定せずに「尊重」し、共に社会を構成する「共存」の精神が、公共の福祉を実現する上で非常に重要な役割を果たします。
問7	答え 1 国民の生命や財産を守るために政府を設置したが、政府が権利を侵害すれば国民には抵抗する権利があるとした。	人間は生まれながらに自由で平等な権利を持っているという「自然権」の考えに基づいています。もし国家が国民の自然権を不当に奪うのであれば、国民はその国家を倒し、新たな国家を創設してもよいという理論を展開し、専制政治を批判しました。
問8	答え 3 輸出入にかかる関税を削減・撤廃し、物資やサービスの往来を活発にすることで自国および加盟国の経済を活性化させるため。	経済のグローバル化が進む中で、物資やサービス、投資が国境を越えて自由に動くことは、加盟国全体の経済成長につながると考えられています。日本にとっては、自動車などの工業製品の輸出が有利になる一方、安い農産物の流入による国内農業への影響も懸念されるため、国内対策とセットで議論されることが多い課題です。
問9	答え 3 若い世代の人数が少なく投票率も低いため、政治家が若い世代の意見よりも、数が多い高齢者層の意見を優先する傾向が強まる。	現代の日本は、少子高齢化によって高齢者の人口比率が高くなっています。これに加えて、若年層の投票率が低いままだと、政治家は当選のために票を多く得られる高齢者向けの政策（医療や年金など）を重視するようになります。このように、若い世代の意見が政策に反映されにくくなる状況は、シルバー民主主義とも呼ばれ、世代間の公平性の観点から大きな課題となっています。
問10	答え 1 参加の権利	児童の権利に関する条約の大きな特徴は、子どもを「意思をもつ主体」として捉えている点にあります。自分の意見を自由に表し、社会の一員として活動できる権利は「参加」の権利に分類されます。ちなみに、教育を受けたり遊んだりすることは「発達」、病気やけがから守られることは「生存」、虐待や過酷な労働から守られることは「保護」の権利に該当します。
問11	答え 1 公正	社会における合意形成や対立の解決において、手続きの正しさと結果の平等性を重視する考え方です。無駄を省くことを重視する「効率」と並んで、現代社会の仕組みを支える重要な柱となっています。
問12	答え 2 身体の不自由な人や高齢者が、社会生活に参加する上での物理的な制限を減らし、安全に移動できるようにするため	バリアフリーは、身体的な特性によって行動が制限されてしまう人々に対し、物理的な障害（段差や階段など）を取り除くことで、自立した社会生活や安全な移動を保障することを目的としています。これは、誰もが自分らしく暮らせる「住みよい町づくり」を実現するための重要な施策の一つです。